

別記様式第7号

公益信託ぎふNPOはつらつファンド
実績報告書(事業助成用)

平成 18年 10月31日

公益信託ぎふNPOはつらつファンド受託者
三菱UFJ信託銀行株式会社 様

〒 501-4221
岐阜県郡上市八幡町小野六丁目8-10
特定非営利活動法人 りあらいず 印

理事長 和泉 美智代

公益信託ぎふNPOはつらつファンドから平成 年度(前期・後期)の事業助成を受けた事業が完了しましたので、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1. 事業名

ディサービス事業

2. 助成の種類 該当するものに を付けてください。

		○	
法人設立準備助成	立ち上げ時事業助成	展開期事業助成	人材育成事業助成

3. 助成金額

既交付金額	1520千円
実績額	1520千円
差し引き額	0円

4. 事業実施期間

平成17年10月 1日 ~ 平成18年 9月30日 (1年 0か月間)

5 . 実施した事業の実績・成果

(1) 具体的な活動状況（実施日時、場所(住所)、対象者、参加者等）

通年事業

- 養護学校送迎時の一時預り
- 年間通学日数207日 3月まで7名、4月～10月は4名
- ディサービス

パソコン教室	10月～9月	月1回	利用者合計50名	ボランティア合計43名
スイミング教室	10月～9月	月1回	利用者合計36名	ボランティア合計65名
英会話教室	5月～9月	月1回	利用者合計26名	ボランティア合計15名
				場所 郡上市総合スポーツセンター
料理教室	5月～9月	月1回	利用者合計21名	ボランティア合計36名
				場所 郡上料理教室
- 11月 ふるさとまつり 11月5日6日 場所 八幡町市街地 ボランティア20名
啓蒙活動 パンフレット配布 募金活動
- 5月 ボランティア研修会 5月20日 場所 スポーツセンターセミナールーム
一般・中高生・親会員・スタッフ合計25名
- 7月 8月 サマースクール 7月27日青少年センター 利用者8名ボランティア9名
8月2日郡上養護学校 利用者5名ボランティア8名
8月4日青少年センター 利用者10名ボランティア17名
8月23日青少年センター 利用者10名ボランティア13名
- 9月 施設見学会 関市社団法人だいち見学 参加者18名
マリーバルホテルにて交流研修会

(2) 活動の成果（開催行事等の参加規模、目的の達成度、効果等）

- 養護学校送迎(3年目)を無事安全に行っている。送迎時の一時預りをミニデーサービスとして行っているため、毎日安心して通学ができています。延べ人数にて1320名が利用してくれた。この実績をもとに、今年10月から郡上市より「日中一時支援」事業の委託を受けることにつながった。
- 専門カウンセラーによる相談事業(就学相談・手帳交付・育児など)を28件行った。1回限りの相談ではなく、解決するまでの協力体制を作り行っている。保護者からの相談件数も徐々に増えていっている。
- ディサービス事業として、パソコン教室・スイミング教室・料理教室・英会話教室を開催し、毎回中高生ボランティア、利用者ともに好評を得ている。郡上市内の障害児数が少ないので、定款の変更(18年9月15日)後、利用者をすべての子ども達(小学生)にひろげて活動していこうと考えている。
- 2回目となったボランティア研修会では、中学生の参加が多かった。研修会を行うことにより、ボランティアネットワークの輪が広がった。
- サマースクールでは、今年は障害児の兄弟共々の参加も増え、郡上養護学校との交流などいつもはできない体験をすることができ、「楽しかった!」とのアンケートの結果も上々で、長期休暇における余暇支援の重要性を再確認できた。
- 施設見学を通し、親同士が「頑張らねば!!」と初心にかえることができ、連帯感が高まった。
- ふるさとまつりにおける啓蒙活動で、募金も多く寄せていただき、より多くの方々に「りあらいず」を知っていただけた。

(3) 今後の課題

18年9月15日付けで定款が認証され「すべての子ども達とハンディキャップのある方の笑顔を支えるNPOです」が活動の目的である。これは単に利用者を増やす目的の為だけではなく、最近増えてきている手帳を持たない軽い障害児の保護者の方々への入会のハードルを下げる、という意味からである。この活動目的を、市民の方々に良く知ってもらえるよう活動を行っていくのが今後の課題である。

さらに、これまで行ってきたすべての事業に対して、対象を「障害のある方」から「すべての子ども達とハンディキャップのある方」にひろげたので、それぞれをどのように有益なものにしていくかが、今後の課題である。